

平成25年第1回定例会（2月議会）

予算特別委員会農林水産分科会
付託議案関係資料

（補正予算（追加提案分））

平成25年2月25日

農 林 水 産 部

目 次

1	地域農業を担う経営体発展支援事業〔農林政策課〕	1
2	農業法人経営発展支援事業〔農林政策課〕	2
3	新秋田米総合支援対策事業〔水田総合利用課〕	3
4	えだまめ日本一総合推進事業〔園芸振興課〕	5
5	畜産環境総合整備事業〔畜産振興課〕	7
6	草地畜産基盤整備事業〔畜産振興課〕	8
7	戦略作物生産拡大緊急基盤整備事業〔農地整備課〕	9
8	農業水利施設保全合理化事業〔農地整備課〕	10
9	県営ため池等整備事業〔農地整備課〕	12
10	農村地域防災減災事業〔農地整備課〕	13
11	木材産業振興臨時対策事業〔林業木材産業課〕	14
12	森林整備及び木材産業振興臨時対策基金積立金〔林業木材産業課〕	15
13	木の国あきた拠点施設整備事業〔林業木材産業課〕	17
14	森林整備臨時対策事業〔森林整備課〕	22

1 地域農業を担う経営体発展支援事業

農林政策課

地域農業を担う認定農業者や集落営農組織等の競争力強化・体質強化を図るため、経営者の資質向上研修や経営診断、経営基盤の整備に向けた取組等を支援する。

1 事業内容

- | | | |
|-------------------------|---|-------------|
| (1) 認定農業者等育成支援事業 | } | 補正なし |
| (2) 地域農業を担う経営体育成確保・推進事業 | | |
| <u>(3) 経営体育成支援事業</u> | | 2月補正（追加提案）分 |

地域の中心となる経営体が融資を活用して農業用機械等を導入する際、その融資残の一部について助成する。

ア 助成対象者 「人・農地プラン」に位置付けられた経営体等（102経営体）

イ 助成対象機械 農産物の生産、加工、流通、販売などに要する機械等

ウ 補助率 3/10以内

2 事業主体

(3)：市町村

3 予算額

200,000千円（国庫補助金）

〔負担金補助及び交付金 200,000千円〕

4 事業年度

平成20年度～

2 農業法人経営発展支援事業

農林政策課

集落型農業法人が、地域農業の担い手として経営発展できるよう、設立後の早期の経営安定や、複合化・多角化による経営拡大を支援するほか、今後の農業経営のモデルとなる農業法人を育成する。

1 事業内容

- | | | |
|----------------------|---|-------------|
| (1) 経営安定支援事業 | } | 補正なし |
| (2) 経営拡大支援事業 | | |
| (3) 法人経営専門員設置事業 | | |
| <u>(4) 次世代法人育成事業</u> | | 2月補正（追加提案）分 |

先導的な取組を行う農業法人に対して、事業拡大のための調査活動の実施や施設・機械の整備を支援する。

ア 乾燥調製施設の整備

- ・ 事業内容 ライスセンター
(累積攪拌乾燥機117トン×1基、循環式乾燥機 82トン×3基、
 粳摺機、色彩選別機等)
- ・ 設置場所 鹿角市花輪
- ・ 受益面積 53ha
- ・ 処理量 乾粳363トン
- ・ 事業費 98,763千円
- ・ 補助率 1/2以内

2 事業主体

株式会社ファー夢かづの

3 予算額

47,030千円（国庫補助金）
〔負担金補助及び交付金 47,030千円〕

4 事業年度

平成24～25年度

3 新秋田米総合支援対策事業

水田総合利用課

高品質・良食味・安全を基本とした売れる米づくりを推進するため、気象変動リスクを最小限に抑える技術の確立、直播の普及拡大、「あきたe c oらいす」の推進、優良種子の安定供給、共同利用施設の整備等に取り組む。

1 事業内容

- | | | |
|--------------------------|---|-------------|
| (1) 秋田米技術革新促進対策事業 | } | 補正なし |
| (2) 需要対応型秋田米生産支援事業 | | |
| (3) 主要農作物種子対策事業 | | |
| (4) 原種生産体制整備事業 | | |
| (5) 農作物鳥獣被害防止対策事業 | | |
| (6) 水田経営維持・強化支援事業 | | 2月補正（追加提案）分 |

ア 乾燥調製施設の整備

- ・ 事業内容 ライスセンター（乾燥機7ト×3基、色彩選別機等）
- ・ 設置場所 北秋田市綴子
- ・ 受益面積 40ha
- ・ 処理量 乾粳260ト
- ・ 事業費 63,000千円
- ・ 補助率 1/2以内

イ 品質向上物流合理化施設の整備

- ・ 事業内容 高品質化及びフレコンによるバラ流通施設
（既存倉庫をラック式倉庫に改造、色彩選別機、均質化装置等）
- ・ 設置場所 大仙市花館
- ・ 受益面積 544.4ha
- ・ 処理量 玄米3,180ト
- ・ 事業費 576,450千円
- ・ 補助率 1/2以内

ウ 乾燥調製施設の整備

- ・ 事業内容 既存ライスセンターの高度化
（大型循環式乾燥機（45ト×2基）、色彩選別機等）
- ・ 設置場所 横手市上境
- ・ 受益面積 280ha
- ・ 処理量 乾粳2,150ト
- ・ 事業費 452,550千円
- ・ 補助率 1/2以内

エ 共同育苗施設の整備

- ・ 事業内容 水稻共同育苗施設（薬剤処理設備、出芽設備、播種プラント等）
- ・ 設置場所 横手市十文字町
- ・ 受益面積 100ha
- ・ 処理量 水稻育苗箱：25,000箱
- ・ 事業費 92,274千円
- ・ 補助率 1/2以内

2 事業主体

ア：(農)向黒沢ファーム

イ：秋田おばこ農業協同組合

ウ：秋田ふるさと農業協同組合

エ：(農)越前

3 予算額

563,652千円（国庫補助金）

（負担金補助及び交付金 563,652千円）

4 事業年度

平成24～25年度

4 えだまめ日本一総合推進事業

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

園芸振興課

「えだまめ」の出荷量日本一を目指し、生産者や関係機関・団体と一体となった全県域での産地連携のもと、生産・流通・販売対策に加え、一次加工による付加価値販売や規模拡大に必要な集出荷施設等の整備を総合的に推進し、秋田の顔となる全国ブランドに育てる。

1 事業内容

- (1) えだまめ日本一産地条件整備事業
- (2) 100日出荷体制確立支援事業
- (3) 秋田県版えだまめサミット開催事業
- (4) えだまめ日本一産地プロモーション事業
- (5) えだまめ大規模産地育成事業

補正なし

2月補正（追加提案）分

加工施設の整備による付加価値販売を進めるとともに、集出荷・共同選別施設の一体的な整備により産地規模の拡大を図り、県内えだまめ産地のモデルとなる大規模産地を育成する。

ア 推進事業 補正なし

イ 整備事業 2月補正（追加提案）分

【加工施設の整備】

- ・ 事業内容 1棟 538㎡、洗浄・ボイル・包装・冷凍設備等一式
- ・ 設置場所 大館市出川
- ・ 製造製品 冷凍剥き豆、ペースト
- ・ 処理量 81トン/年（生産量の約15%を計画）
- ・ 事業費 229,692千円
- ・ 補助率 1/2以内

【集出荷・選別施設の整備】

- ・ 事業内容 1棟 1,540㎡、選別設備・予冷設備・機械器具等一式
- ・ 設置場所 大館市出川
- ・ 処理量 495トン/年
- ・ 事業費 399,363千円
- ・ 補助率 1/2以内

(6) えだまめ共同利用施設整備事業

2月補正（追加提案）分

えだまめの収穫・選別作業等の労力を軽減し、産地規模の拡大を図るため、共同で利用する選別施設等の整備を支援する。

ア 集出荷・選別施設の整備

- ・ 事業内容 1棟 240㎡、計量機・包装機・予冷設備等一式
（既存の集出荷・選別施設の能力増強）

- ・ 設置場所 八郎潟町
- ・ 処 理 量 108トン/年
- ・ 事 業 費 98,469千円
- ・ 補 助 率 1/2以内

2 事業主体

- (5) : あきた北農業協同組合
- (6) : あきた湖東農業協同組合

3 予算額

346,440千円

〔 国庫補助金： 237,063千円 〕
 〔 繰 入 金：農林漁業振興臨時対策基金 109,377千円 〕

(5) 299,550千円

〔 負担金補助及び交付金 299,550千円 〕

(6) 46,890千円

〔 負担金補助及び交付金 46,890千円 〕

4 事業年度

平成23～25年度

5 畜産環境総合整備事業

畜産振興課

畜産経営の総合的な環境整備を行い、地域農業の持続的発展と生活環境の改善を図る。

1 事業内容

- (1) 小坂地区（小坂町） 補正なし
- (2) 大館地区（大館市）
 - ア 事業内容 家畜排せつ物処理施設1棟、運搬車1台 2月補正(追加提案)分
 - イ 補助率 国50%
- (3) 事業計画策定事業 補正なし
- (4) 事務費（大館地区分） 2月補正(追加提案)分

2 事業主体

- (2)：(社)秋田県農業公社
- (4)：県、(社)秋田県農業公社

3 予算額

85,750千円
〔 国庫補助金 80,270千円
一般財源 5,480千円 〕

4 事業年度

- (2)：平成24～25年度

6 草地畜産基盤整備事業

畜産振興課

畜産の担い手の規模拡大を図るとともに、地域の土地資源を飼料生産基盤として活用することにより、畜産の主産地形成を促進する。

1 事業内容

- (1) 由利本荘地区（由利本荘市、大仙市、仙北市） 補正なし
- (2) 北秋田２期地区（北秋田市、藤里町）
 - ア 事業内容 草地造成整備19.7ha 2月補正(追加提案)分
 - イ 補助率 国55%
- (3) 雄平地区（横手市、羽後町、東成瀬村）
 - ア 事業内容 草地造成整備32.7ha、家畜保護施設5棟、飼料調製貯蔵施設3棟、堆肥舎1棟、牧場用機械9台 2月補正(追加提案)分
 - イ 補助率 国55%
- (4) 事業計画策定事業 補正なし
- (5) 事務費（北秋田２期、雄平地区分） 2月補正(追加提案)分

2 事業主体

- (2)、(3)：(社)秋田県農業公社
- (5)：県、(社)秋田県農業公社

3 予算額

382,686千円

〔 国庫補助金 360,635千円
一般財源 22,051千円 〕

4 事業年度

- (2)：平成24～27年度
- (3)：平成24～26年度

7 戦略作物生産拡大緊急基盤整備事業

農地整備課

戦略作物の品質や収量の大幅な向上を図り、高収益農業の実現を目指すため、モミガラ補助暗渠等による水田の排水強化対策、中山間地域における小規模基盤整備、老朽化した農業水利施設の長寿命化対策を緊急的に実施する。

1 事業内容

- | | |
|---------------------------|-------------|
| (1) 戦略作物高品質・高収量実現排水強化支援事業 | 補正なし |
| (2) 中山間地域農業活性化緊急基盤整備事業 | |
| ア 地域農業活性化推進事業 | 補正なし |
| イ 地域農業活性化基盤整備事業 | |
| 2地区 | 2月補正(追加提案)分 |
| (3) 農業水利施設長寿命化対策支援事業 | |
| ア 基幹施設強化型 | |
| 12地区 | 2月補正(追加提案)分 |
| イ 小規模施設強化型 | 補正なし |

2 事業主体

(2)イと(3)ア：県

3 予算額

993,310千円

国庫補助金：	543,490千円
繰入金：農林漁業振興臨時対策基金	3,127千円
諸収入：	199,993千円
県債：	246,700千円
工事請負費	885,760千円
委託料	100,250千円
補償、補填及び賠償金等	7,300千円

4 事業年度

平成23～25年度

8 農業水利施設保全合理化事業

農地整備課

農業用排水施設に附帯する施設の補修・整備により水管理の省力化を推進するとともに、老朽化した農業水利施設の機能診断を緊急的に実施し、施設の機能保全計画の作成を行う。

1 事業内容 2月補正（追加提案）分

(1) 管理省力化施設整備事業

水管理施設、維持管理施設、安全施設等の農業水利施設における附帯施設の整備を行う。

ア 対象施設 農業用排水施設に附帯する施設（事業費200万円以上）

イ 補助率 国55% 市町村45%（6法指定地域外 国50%）

ウ 地区数 62地区（16市町村）

(2) 機能保全計画策定事業

緊急的に農業水利施設の機能保全診断を実施し、施設を補修するために必要な計画を策定する。

ア 対象施設 受益面積10ha以上の農業用排水施設等

イ 補助率 国100% 定額

ウ 地区数 5地区

2 事業主体

(1)：市町村

(2)：県

3 予算額

1, 179, 254千円（国庫補助金）

(1) 1, 135, 254千円

〔負担金補助及び交付金 1, 135, 254千円〕

(2) 44, 000千円

〔委託料 44, 000千円〕

4 事業年度

平成24～27年度

農業水利施設保全合理化事業（管理省力化施設整備）H24補正新規

事業の概要

○目的

老朽化した農業用排水施設に
附帯する施設の補修・整備により、
適正な維持管理及び長寿命化を図
る。

○概要

事業名 農業水利施設保全合理
化事業
(管理省力化施設整備)

事業実施主体 市町村 国55% 市町村45%
事業費負担 (6法以外:国50%)

二主要工事 安全防護柵・ゲート塗装
スクリーン・除塵機等の用排
施設の附帯設備の整備

○平成24年度補正要望額

事業費 2,105百万円
国費 1,135百万円

○実施市町村

鹿角市、小坂町、大館市、北秋田
市、三種町、秋田市、男鹿市、潟
上市、五城目町、八郎潟町、大潟
村、由利本荘市、にかほ市、横手
市、湯沢市、羽後町
計16市町村

地区の現状と課題

- 農業用排水施設の附帯施設（除塵機、安全防護柵等）は土地改良区等に適切に維持管理を行っている。
- しかし、用排水施設に附帯する施設は造成から40年近くが経過し老朽化が進行しており、また、混在化が進み、安全防護柵等の安全施設も必要となっている。
- 加えて、老朽化施設の維持管理負担が増大が、関係管理者団体の運営に多大な支障を与えている。

○用水路安全防護柵無し



○スクリーンの老朽化・ゴミの堆積



農業用排水施設に附帯する施設整備・更新による長寿命化対策

- 老朽化施設の更新による維持管理費の低減及び施設の長寿命化を促進。
- また、水利システムの合理化により維持管理負担や水管理労力を軽減し、担い手農家への農地集積を加速化。
- 安全防護柵等設置による安全対策。

○安全防護柵設置 (イメージ)



○除塵機設置による維持管理節減 (イメージ)



9 県営ため池等整備事業

農地整備課

土地改良施設の安全性と地域の安全度の向上を図るため、農業用ため池の現況把握（一斉点検）及び耐震性調査を実施する。

1 事業内容

- (1) ため池等整備 補正なし
(2) ため池等耐震性調査・計画事業 2月補正（追加提案）分

ア 農業用ため池の現況把握（一斉点検）

- ・ 実施内容
施設諸元、漏水、クラック及び変形、変状、改修履歴、周辺状況等の点検
- ・ 対象施設
かんがい受益面積2ha以上のため池（1,900カ所） 単価100千円／カ所
- ・ 補助率 国100%

イ 耐震性点検調査

- ・ 実施内容
ボーリング等による土質調査、及び安定計算による耐震性の検討
- ・ 対象施設
受益面積2ha以上、かつ決壊時に被害を受ける面積が7ha以上、または被害想定額が4,000万円以上のため池（105カ所）
 - 調査1：堤高15m未満のため池のうち、受益面積5ha（県営造成規模）以上で下流に人家等があるもの（91カ所） 単価4,000千円／カ所
 - 調査2：堤高15m以上のため池（ボーリング本数及び耐震性の検討項目が調査1より詳細となる）（14カ所） 単価15,000千円／カ所
- ・ 補助率 国100%

2 事業主体

(2)：県

3 予算額

745,000千円（国庫補助金）
〔委託料 745,000千円〕

4 事業年度

平成24～25年度

10 農村地域防災減災事業

農地整備課

老朽化したダムやため池が複数存在する一級河川芋川流域において、集中豪雨等による災害を防止し、農村地域の防災力向上を図るため、流域全体の防災・減災にかかる計画を策定する。

1 事業内容

(1) 農村災害対策整備事業 2月補正（追加提案）分

ア 調査計画事業

由利本荘市大内地域に位置する老朽化した県営ダムとため池の機能診断等を実施し、流域全体の防災減災対策を図るための計画を策定する。

- ・ 実施地区 大内地区（由利本荘市）
ダム2カ所（小羽広、鬼ヶ台）、ため池2カ所（七曲、中野）
- ・ 実施内容 施設整備の年次計画の策定
防災情報（雨量、水位）管理システムの整備計画 等
- ・ 補助率 国100%

2 事業主体

県

3 予算額

10,000千円（国庫補助金）
〔委託料 10,000千円〕

4 事業年度

平成24年度～

1 1 木材産業振興臨時対策事業 【森林整備及び木材産業振興臨時対策基金事業】

林業木材産業課

森林整備及び木材産業振興臨時対策基金を活用し、木材加工流通施設や木造公共施設の整備等を加速化し、県産木材の需要拡大を図る。

1 事業内容

- (1) 地域協議会運営事業
- (2) 高性能林業機械等導入事業
- (3) 流通経費支援事業

補正なし

(4) 木材加工流通施設等整備事業 2月補正（追加提案）分

県産木材の新たな需要を拡大するための木材加工施設の整備に助成する。

ア 事業内容 1施設 秋田スギフロアー用合板製造施設一式（秋田市）

イ 補助率 1/2以内

(5) 木造公共施設等整備事業 2月補正（追加提案）分

公共施設の木造化等を推進するため、木造施設の建築や内装木質化に助成する。

ア 事業内容 2施設 統合こども園1棟：1,200㎡（八峰町）

コミュニティ体育館1棟：878㎡（由利本荘市）

イ 補助率 1/2以内

(6) 間伐材利用促進利子助成事業 2月補正（追加提案）分

間伐材の生産を促進するため、間伐材購入等に必要な運転資金の利子に助成する。

ア 事業内容 林業事業体や木材関連業者等が、間伐材の安定供給協定に基づく間伐材の購入等のために借り入れる運転資金への利子助成

イ 補助額 借入資金利子の最大3%を助成

2 事業主体

- (4)：木材加工企業等
- (5)：市町村等
- (6)：林業事業体、木材関連業者等

3 予算額

403,830千円

（繰入金：森林整備及び木材産業振興臨時対策基金 403,830千円）

(4) 146,702千円

〔負担金補助及び交付金 146,702千円〕

(5) 237,128千円

〔負担金補助及び交付金 237,128千円〕

(6) 20,000千円

〔負担金補助及び交付金 20,000千円〕

4 事業年度

平成21～26年度

1 2 森林整備及び木材産業振興臨時対策基金積立金

林業木材産業課

林業及び木材産業の振興を加速するため、木材加工施設や木質バイオマス利用施設の整備及び公共施設の木造化等に充てる基金を積み増しする。

1 事業内容 2月補正（追加提案）分

(1) 経営基盤の強化

ア 森林病虫害対策

- ・ 松くい虫やナラ枯れによる被害を防止するための森林病虫害対策を実施

イ 間伐材利用促進利子助成

- ・ 間伐材の生産を拡大するため、間伐材の購入等に必要な運転資金に対する利子助成

(2) 県産材需要拡大

ア 木材加工流通施設等整備

- ・ 県産木材の新たな需要を拡大するための木材加工施設等の整備を支援

イ 木質バイオマス施設整備

- ・ 間伐未利用材など木質バイオマス資源の利用促進に向けた施設整備を支援

ウ 木造公共施設等整備

- ・ 公共施設の木造化等を推進するため、市町村等が実施する木造施設の建築や内装木質化等を支援

エ 地域材利用開発、地域材新規用途導入促進支援

- ・ 地域材を活用した製品開発や開発済み木製品の普及、モデル実証等を支援

2 予算額

3, 309, 952千円（国庫補助金）

3 事業年度

平成21～26年度

森林整備及び木材産業振興臨時対策基金事業 (H25.2)

間伐路網整備、高性能林業機械の導入、人材育成、木材加工施設の整備等による、川上から川下までの一体的な取組を推進する。

●第2次
基金造成額 6,203百万円

●第2次追加
基金造成額 3,310百万円

地域協議会等 (H24~26 : 42百万円)

(事業費は見込)

低コスト生産のための基盤整備

森林・林業の人材育成



森林施業プランナー、素材生産技能者育成等
H24~26 : 169百万円

路網の整備

○3力年で500km整備(林業専用道、森林作業道)

林業専用道 (開設標準額 2万5千円/m)



H24~26 : 1,713百万円

森林作業道(助成上限額 2千円/m)



H24~26 : 877百万円

高性能林業機械の導入

補助率1/2以内

集材から造材・運搬に必要な高性能林業機械の導入
H24~26 : 661百万円



間伐の推進

間伐の実施

補助率 65% (基金50%、県15%)



搬出間伐の実施

H24~26 : 860百万円 (基金分)

森林境界の明確化

定額助成: 45千円/ha

間伐のための境界設定

H24~26 : 35百万円

経営基盤の強化

森林病虫害対策

松くい虫被害対策等実施

定額助成: 40千円/m²

H24~25 : 190百万円

利子助成

運転資金の利子助成: 最大3%

間伐材購入等に必要な運転資金の利子助成
H24~25 : 20百万円

流通コスト支援

50km以上: 上限1,000円/m³、100km以上: 上限2,000円/m³
(2年目は半額)

50・100kmを超える
間伐材の運搬に助成

H24~26 : 60百万円

県産材需要拡大

木材加工流通施設等整備

補助率1/2以内



木材加工・乾燥施設等の整備

H24~26 : 2,002百万円

木質バイオマス施設整備

補助率1/2以内



木質バイオマスポイラー等の整備

H24~26 : 988百万円

木造公共施設等整備

補助率1/2以内



公共施設等の木造・木質化

H24~26 : 1,702百万円

地域材利用開発、地域材新規用途導入促進支援

定額

地域材活用の製品開発等

H25~26 : 194百万円

13 木の国あきた拠点施設整備事業

【森林整備及び木材産業振興臨時対策基金事業】

【農林漁業振興臨時対策基金事業】

林業木材産業課

秋田のイメージアップと県産材の需要拡大を図るため、県産材利用の啓発拠点となる施設の木造化・木質化を支援する。

1 事業内容 2月補正（追加提案）分

県都秋田市において、交通や観光の起点となる秋田駅西口バスターミナルの木造化を支援する。

(1) 事業概要

ア 秋田スギ木造平屋建て 4棟

(L=34.2~43.2m、W=2.965~3.465m、H=4.25m)

イ 建築面積 266.93㎡

ウ 全体事業費 150,516千円（内補助対象経費 117,669千円）

エ 補助率 国1/2以内、県1/4以内

2 事業主体

秋田中央交通株式会社

3 予算額

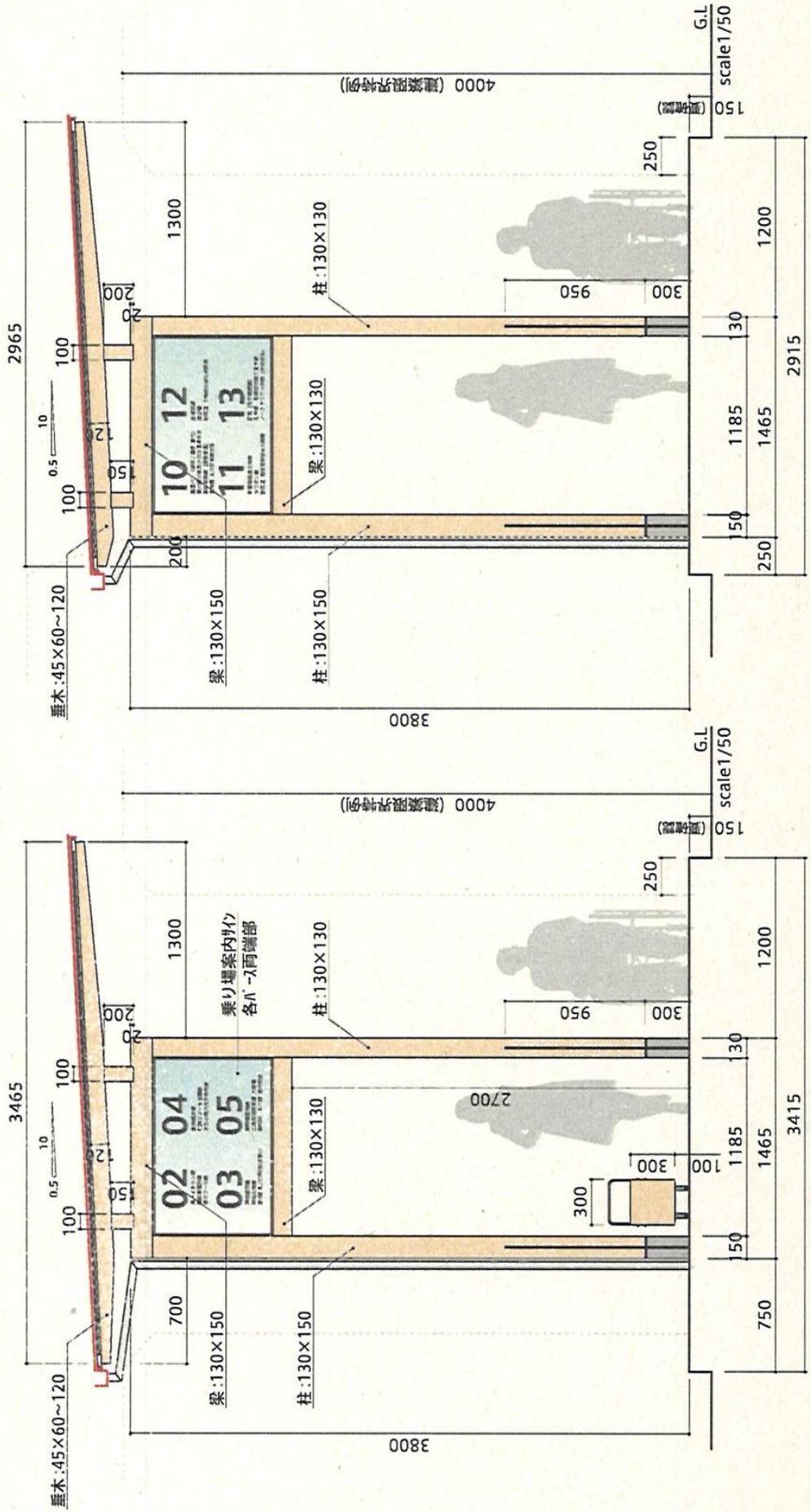
88,234千円

〔	繰入金：森林整備及び木材産業振興臨時対策基金	58,834千円
	農林漁業振興臨時対策基金	29,400千円
〕	負担金補助及び交付金	88,234千円

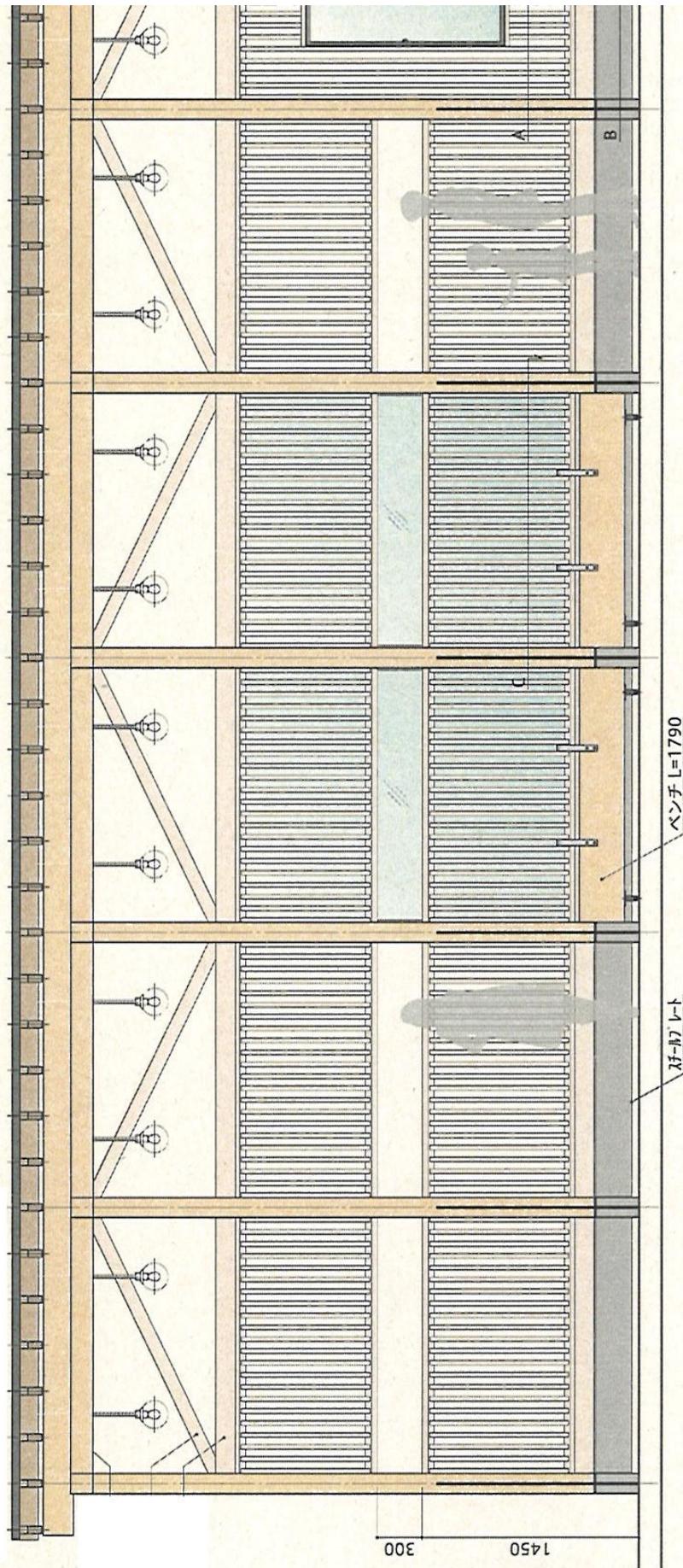
4 事業年度

平成24~25年度

秋田駅西口バスターミナル 立面図

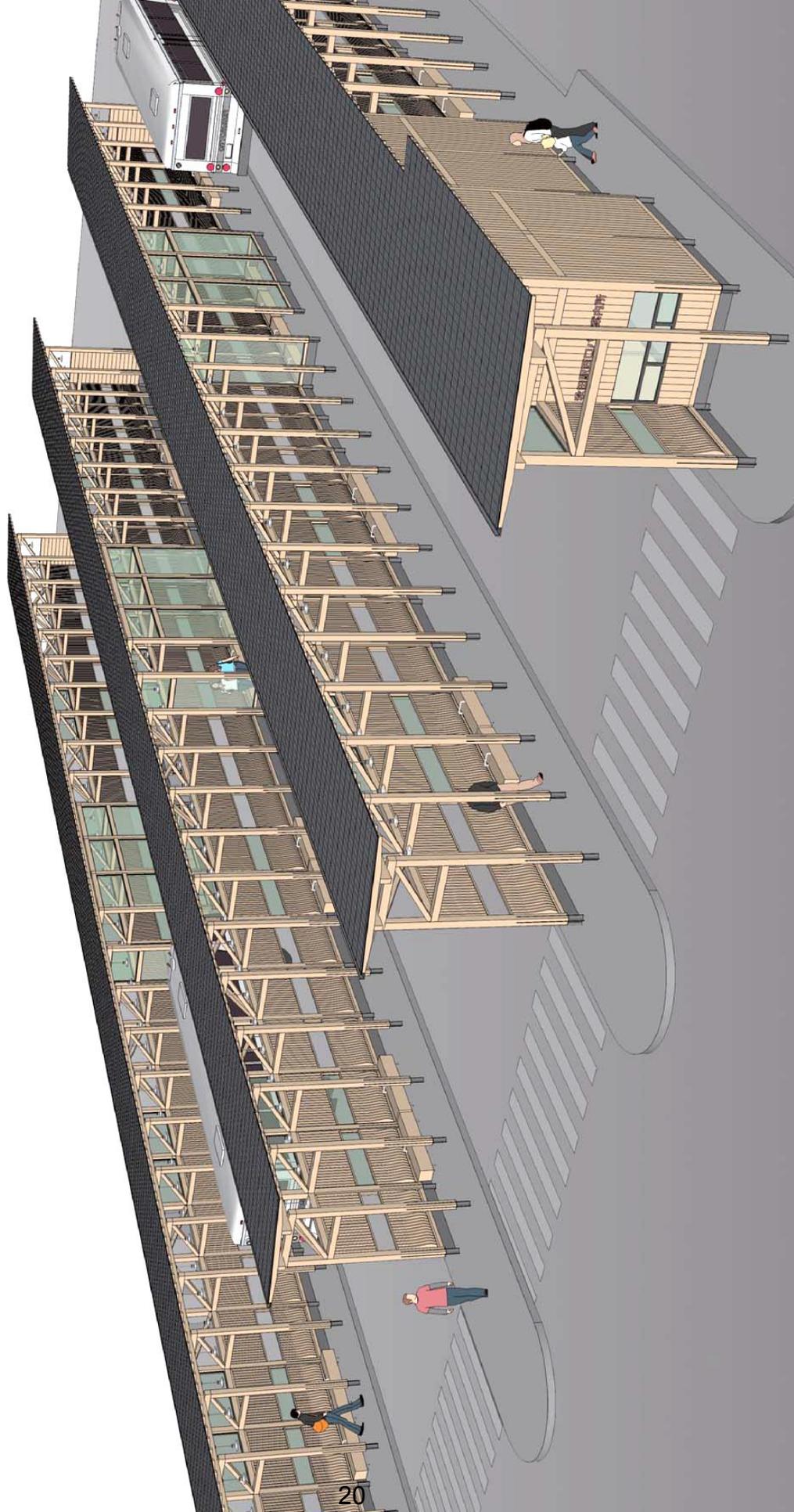


①構造断面



② 正面

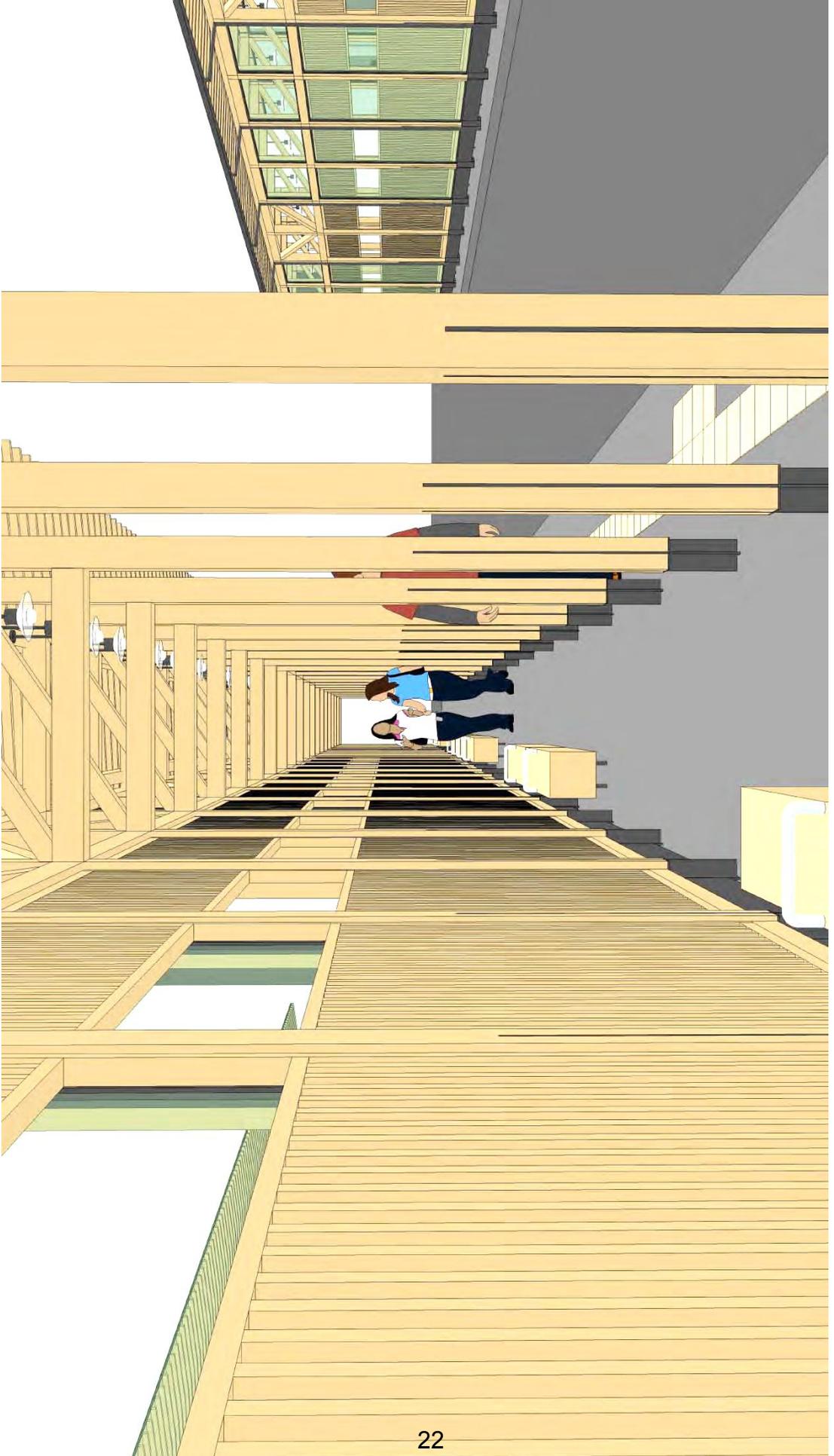
建築イメージ



① 全景（秋田駅ポロロード側より望む）



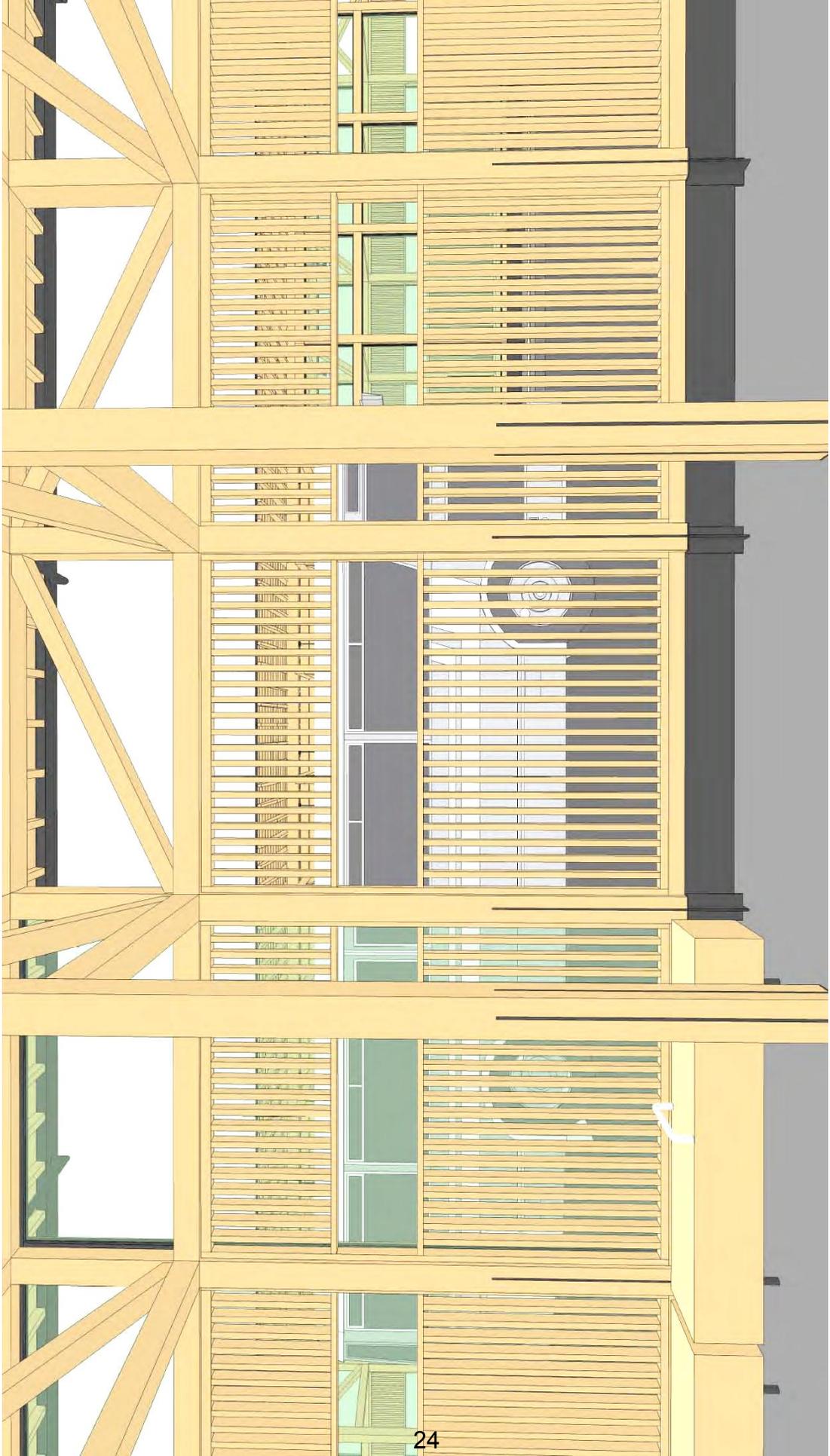
② 案内所付近 (第1バス)



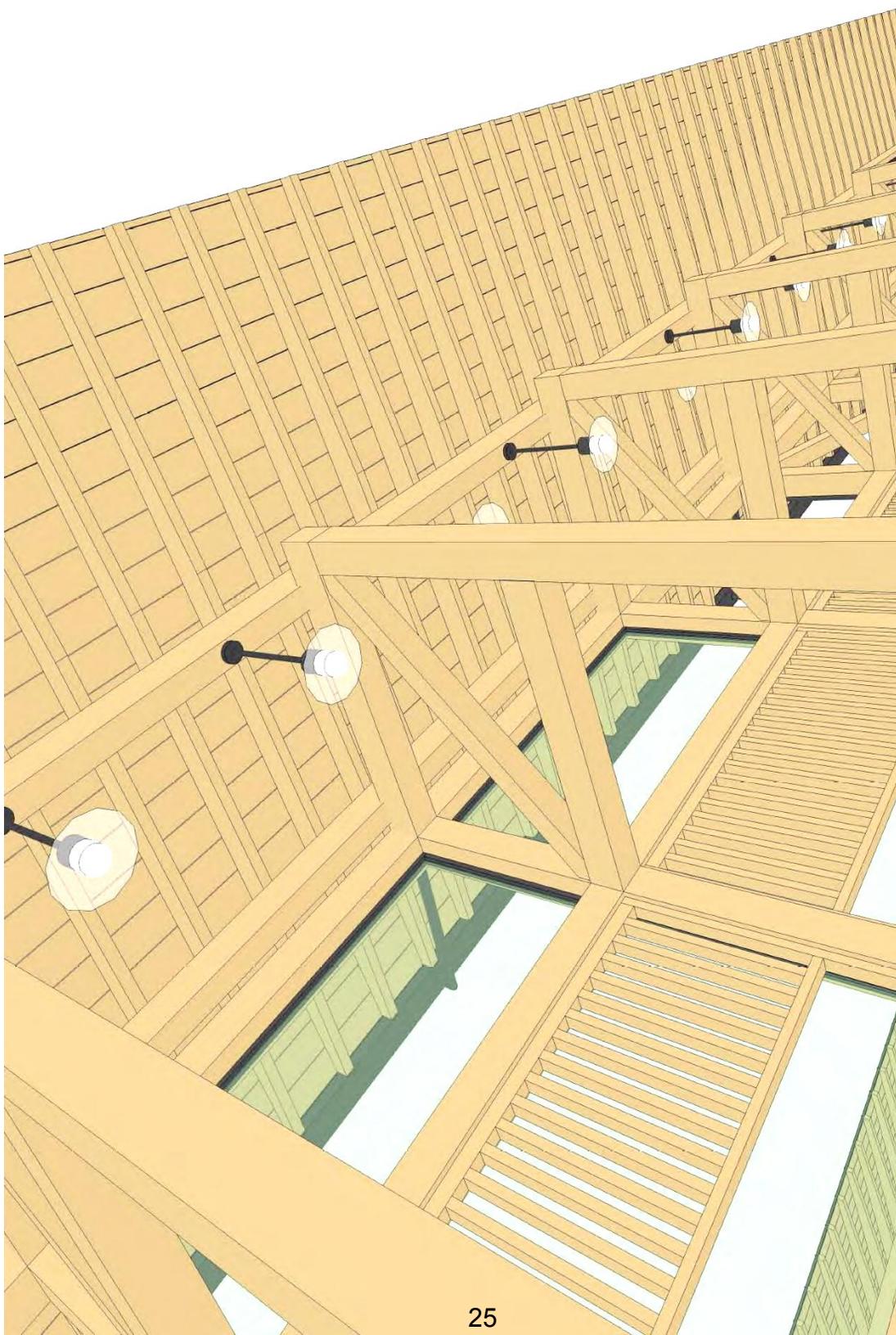
③ 施設内状況



④ 風除室付近状況(バス乗車側)



⑤ 壁面格子構造状況



⑥ 天井面の構造状況

1 4 森林整備臨時対策事業 【森林整備及び木材産業振興臨時対策基金事業】

森林整備課

森林整備及び木材産業振興臨時対策基金を活用し、公益的機能が高いマツ林や広葉樹林の保全を図るため森林病虫害対策を実施する。

1 事業内容

- | | | |
|----------------------|---|-------------|
| (1) 路網整備事業 | } | 補正なし |
| (2) 森林・林業人材育成加速化事業 | | |
| <u>(3) 森林病虫害対策事業</u> | | 2月補正（追加提案）分 |

マツ林において、松くい虫の繁殖源となる不良木の伐倒・処理（衛生伐）を実施する。また、森林公園等の「守るべきナラ林」において、ナラ枯れ被害を防止するため樹幹注入による予防対策を実施する。

ア 事業量

- ・ マツ林 衛生伐：668ha（12,000m³）
- ・ ナラ林 樹幹注入：965本（290m³）

イ 補助率 定額（40千円/m³以内）

2 事業主体

県、市町村

3 予算額

- (1) 190,000千円（繰入金：森林整備及び木材産業振興臨時対策基金）
- | | | |
|---|------------|-----------|
| 〔 | 委託料 | 180,000千円 |
| | 負担金補助及び交付金 | 10,000千円 |

4 事業年度

平成24～25年度